



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月10日

上場会社名 株式会社チヨダ 上場取引所 東
 コード番号 8185 URL <http://www.chiyodagr.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 町野 雅俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 井上 裕一郎 TEL 03-5335-4134
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	21,582	△1.8	945	△34.1	1,099	△24.5	815	△37.6
2026年2月期第1四半期	21,980	△14.4	1,434	△6.8	1,457	△13.5	1,306	△2.1

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 780百万円 (△39.9%) 2026年2月期第1四半期 1,298百万円 (1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	24.02	—
2026年2月期第1四半期	37.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	74,367	49,828	67.0
2026年2月期	71,016	49,964	70.3

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 49,828百万円 2026年2月期 49,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2027年2月期	—				
2027年2月期（予想）		27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	42,800	2.3	1,500	8.7	1,700	13.8	1,250	35.6	36.34
通期	82,500	1.4	1,400	28.3	1,700	12.7	1,100	363.0	31.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	34,359,396株	2026年2月期	34,359,396株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	410,290株	2026年2月期	410,232株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	33,949,116株	2026年2月期1Q	35,152,550株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

2027年 2 月期の個別業績予想 (2026年 3 月 1 日～2027年 2 月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期 (累計)	41, 600	1. 9	1, 700	26. 3	1, 250	48. 4	36. 34
通期	80, 000	1. 3	1, 600	39. 8	1, 050	—	30. 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	9
(1) 個別経営成績（累計）	9
(2) 個別財政状態	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しました。一方、中東情勢の影響によるエネルギー関連価格や原材料費の高騰、円安傾向の持続、金利上昇による金融資本市場の変動が懸念され、先行きは依然不透明な状況です。また、物価上昇は継続して進行している一方で、賃金も引き続き上昇傾向にあり、所得環境の改善により底堅く経過しました。

このような環境の中、当社グループは、中期経営計画に基づき、「プライベートブランド商品の拡大」「店舗・業態別戦略」「デジタル販促強化とOMOの更なる推進」「販売チャネルの拡大」「業務効率の改善」「サステナビリティ経営の実践」等の施策を推進してまいりました。特に、靴専門店ならではの視点を活かし、日常の便利さと快適さを追求したプライベートブランド商品の開発・提案を強化し、顧客起点のマーケティングを実施することで、競争力を高めてまいりました。また、EC事業やOMO戦略も含めたデジタル売上の強化や、法人事業の抜本的な見直しを行うなど、実店舗以外の販売チャネル拡大に努めてまいりました。

商品面では、引き続き、手を使わずに立ったまま履ける「スパットシューズ」のマルチライフスタイル戦略に基づき、若年層向けのキャラクターコラボアイテムや、猛暑対策となる涼感が得られるスニーカー等を発売することで、ターゲット層の拡大に努めました。さらに、消費者の要望より商品化となった学童向けの上履きをラインナップに加えることで、今期340万足の販売計画の実現に向けて取り組みました。

また、物価高対策として、子供靴は低価格商品の品揃えを拡大したうえで常設化しました。加えて、婦人靴では低価格シーズンフォーカスアイテムとして「よくばりパンプス」を発売することで新規顧客獲得と来店促進を図りました。一方、靴専門店ならではの発想による日常の「不（負）」を解消する付加価値のある機能性商品を引き続き提案することで、中～高価格帯への対応にも注力しました。

販売促進施策としては、創業90周年を迎えたことにより大型感謝セールを開催し、テレビCMの放映による告知、最大50%OFFの割引やQRコード決済によるポイント還元などの特典を提供することで、集客と販売促進を強化しました。また、当社イメージキャラクターを活用したSNSでの発信を増やし、プライベートブランドや自社ECサイトのPR活動を積極的に展開することで、消費者への認知拡大を図りました。加えて、自社ECサイトの売上最大化を図るため、外部インフルエンサーを活用したPR強化にも取り組みました。

また、サステナビリティ活動の一環として、こどもたちの元気な足元と健やかな成長をサポートすることを目的に、2026年5月よりこども家庭庁の「こどもまんなかアクション」応援サポーターとして、創業100周年に向けた社会貢献活動を開始しました。

出退店につきましては、3店舗を出店、7店舗を閉店し、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は859店舗（前連結会計年度末比4店舗減）となりました。

経費につきましては、賃金上昇やインフレ等の影響によって増加が避けられない項目がありましたが、広告宣伝費の見直しや管理費の抑制を行ったことで、販売費及び一般管理費は前年同期比2.5%減となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高21,582百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益945百万円（同34.1%減）、経常利益1,099百万円（同24.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益815百万円（同37.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、74,367百万円（前連結会計年度末比3,351百万円増）となりました。

流動資産は、46,716百万円（前連結会計年度末比3,149百万円増）となっております。これは、主として売掛金が5,191百万円（前連結会計年度末比2,006百万円増）、商品が25,209百万円（同4,211百万円増）、現金及び預金が14,571百万円（同3,190百万円減）となったことによるものであります。

固定資産は、27,651百万円（前連結会計年度末比202百万円増）となっております。これは、主として建物及び構築物が1,366百万円（前連結会計年度末比3百万円増）、繰延税金資産が4,765百万円（同90百万円増）、投資有価証券が2,714百万円（同11百万円減）となったことによるものであります。

(負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、24,539百万円（前連結会計年度末比3,488百万円増）となりました。

流動負債は、19,103百万円（前連結会計年度末比3,536百万円増）となっております。これは、主として支払手形及び買掛金が3,966百万円（前連結会計年度末比1,335百万円増）、電子記録債務が10,902百万円（同1,637百万円増）、未払費用が2,064百万円（同426百万円増）となったことによるものであります。

固定負債は、5,436百万円（前連結会計年度末比48百万円減）となっております。これは、主としてリース債務が353百万円（前連結会計年度末比11百万円減）、退職給付に係る負債が2,859百万円（同13百万円減）、資産除去債務が1,575百万円（同2百万円減）となったことによるものであります。

(純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、49,828百万円（前連結会計年度末比136百万円減）となりました。これは、主として自己株式が△571百万円（前連結会計年度末比0百万円増）、利益剰余金が35,416百万円（同101百万円減）となったことによるものであります。自己資本比率は67.0%（前連結会計年度末比3.3ポイント減）となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月10日の「2026年2月期 決算短信」において公表いたしました、第2四半期（累計）及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,761	14,571
売掛金	3,185	5,191
電子記録債権	0	1
商品	20,998	25,209
返品資産	107	108
前払費用	1,042	1,109
その他	476	529
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	43,566	46,716
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,363	1,366
工具、器具及び備品（純額）	271	260
土地	4,020	4,020
リース資産（純額）	214	202
その他（純額）	37	44
有形固定資産合計	5,907	5,895
無形固定資産	4,470	4,672
投資その他の資産		
投資有価証券	2,725	2,714
長期貸付金	900	901
長期預金	1,550	1,550
敷金及び保証金	6,898	6,824
繰延税金資産	4,675	4,765
その他	320	328
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	17,070	17,083
固定資産合計	27,449	27,651
資産合計	71,016	74,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,631	3,966
電子記録債務	9,264	10,902
リース債務	284	258
未払費用	1,638	2,064
未払法人税等	286	296
未払消費税等	8	68
契約負債	211	297
返品負債	203	212
賞与引当金	353	553
役員賞与引当金	21	9
店舗閉鎖損失引当金	9	9
ポイント引当金	0	0
リース資産減損勘定	4	4
資産除去債務	25	23
その他	622	433
流動負債合計	15,566	19,103
固定負債		
リース債務	365	353
繰延税金負債	18	19
退職給付に係る負債	2,872	2,859
役員退職慰労引当金	25	17
転貸損失引当金	12	10
長期預り保証金	419	418
長期リース資産減損勘定	6	5
資産除去債務	1,578	1,575
その他	186	176
固定負債合計	5,484	5,436
負債合計	21,051	24,539

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	7,489	7,489
利益剰余金	35,517	35,416
自己株式	△571	△571
株主資本合計	49,328	49,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169	158
繰延ヘッジ損益	18	16
退職給付に係る調整累計額	447	426
その他の包括利益累計額合計	636	601
純資産合計	49,964	49,828
負債純資産合計	71,016	74,367

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	21,980	21,582
売上原価	10,864	11,197
売上総利益	11,115	10,384
販売費及び一般管理費	9,681	9,439
営業利益	1,434	945
営業外収益		
受取利息	24	26
受取配当金	0	0
受取賃貸料	—	32
受取家賃	90	76
為替差益	—	72
その他	27	22
営業外収益合計	143	231
営業外費用		
支払利息	2	3
不動産賃貸費用	80	71
為替差損	35	—
その他	1	1
営業外費用合計	120	76
経常利益	1,457	1,099
特別利益		
固定資産売却益	1	—
転貸損失引当金戻入額	—	0
受取補償金	63	—
特別利益合計	64	0
特別損失		
固定資産除却損	1	2
減損損失	31	148
店舗閉鎖損失引当金繰入額	10	—
特別損失合計	43	151
税金等調整前四半期純利益	1,478	948
法人税、住民税及び事業税	214	210
法人税等調整額	△42	△77
法人税等合計	172	132
四半期純利益	1,306	815
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,306	815

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	1,306	815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△11
繰延ヘッジ損益	1	△2
退職給付に係る調整額	4	△21
その他の包括利益合計	△8	△35
四半期包括利益	1,298	780
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,298	780

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	182百万円	186百万円

(セグメント情報等の注記)

当社グループは「靴事業」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. 補足情報

2027年2月期第1四半期の個別業績(2026年3月1日～2026年5月31日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
2027年2月期第1四半期	20,911 △2.9	943 △20.9	1,187 △11.5	909 △28.3
2026年2月期第1四半期	21,525 △1.5	1,192 △32.2	1,342 △29.5	1,268 △19.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	26.80	—
2026年2月期第1四半期	36.08	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	71,991	47,770	66.4
2026年2月期	68,878	47,788	69.4

(注) 四半期個別財務諸表は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。